

令和四年栃木県支部俳句大会成績

日時 令和四年七月十八日(月)
場所 栃木県総合文化センター

山田真砂年特選

曼荼羅を描いて消して花の風

中世古道子

妹の喃語訳せり秋ざくら

大関由紀江

爺と孫酒事叶ふ端午かな

熊倉 敬枝

山田真砂年入選

昼寝の子地球とつくに離れゐて

伏木 ケイ

干瓢剥く夫婦あうんの夜明け前

長谷川令子

皺みゆく身をいとほしむ更衣

大高 松竹

朱咲けば白ほしくなる牡丹かな

渡辺 加代

バンカーに足跡くつきり春の鹿

義本美智江

田芹摘む一つ所を動かさず

阿部 澄

廃村へ道は残りて桜かな

西山 弓子

子を容れて餌はなやぐ木の芽風

大貫 良明

人待つといふときめきや春灯

加茂都紀女

菖蒲葺く今も一村医者一人

長島 啓子

指跡は母のぬくもり蓬餅

戸崎千代子

衣紋竹傾ぎてははがゐるやうな

星野えり子

初夏の風総身にまとひ太極拳

齋藤 弘子

人知れぬ強がりもあり虎が雨

後藤 房江

躰糸するりと抜けて夏来たる

星野乃梨子

月涼し許してしまふ母の嘘

木野ナオミ

メロン切るママは分数教えつつ

手塚 久

桑原まさ子特選

大方は笑ひ飛ばして生御魂

西里満喜子

大高松竹特選

菖蒲湯に児を裏がへす蒙古斑

たなかまさこ

平手ふじえ特選

月涼し許してしまふ母の嘘

木野ナオミ

蓮實淳夫特選

廃村へ道は残りて桜かな

西山 弓子

落合惑水特選

花虻に揺るる百坪房の影

秋葉 咲女

亀田やす子特選

身を折りて脱ぎぬ足湯の登山靴

三橋 順子

木多芙美子特選

夏帽子会へばきのふのごと昭和

川勾 幸子

五十嵐藤重特選

八木節のちやかぼこちやつちや五月来る

阿部 澄

岩瀬とき子特選

立て膝の益荒男蛇籠編む五月

和泉 澄雄

岩田裕司特選

禅堂に趺坐の温もり木守柿

小林 和子

岡田幸子特選

田植機の一度弾んで田に入りぬ

星 揚子

加茂都紀女特選

菖蒲湯に児を裏がへす蒙古斑

たなかまさこ

木野泰男特選

掛矢打つ音に明けたる初幟

平手ふじえ

芝山要作特選

つぎはぎの埴輪へ大き春の月

高橋志津子

関田和子特選

妖精は三寒四温の笛を吹く

大出 義子

高橋志津子特選

田植機の一度弾んで田に入りぬ

星 揚子